



2015年夏

平和

の取り組み

～被爆70周年～



走行コースでのフォトスポット 参加した子どもたちの感想

③ 8/8 小長井町役場前



産直びん牛乳を飲み、栄養補給!
(冷たくて美味しかった～)



⑤ 8/9 蛍茶屋付近



ゴールまであと少し!
(がんばるぞ～)

④ 8/9 グリーンコープ生協(長崎)
本部前(長崎市小中里町)



長崎市内に突入!(やったー)

① 8/8 七浦小学校付近



昼食を済ませ、一息つき再出発!
(よし、行くぞ～)

② 8/8 多良の坂道



急傾斜を突破中!(きつよいよ～)

『がんばれ〜、真夏の太陽の下、熱い声援とともに僕らは『不戦』を揚げ、長崎へと自転車に向かって。僕は長崎生まれの長崎育ち。平和について今まで学習してきたが、自分から行動に移すことはなかった。しかし、銀輪隊に参加することで少しも平和の大切さを伝えることができたと思う。『不戦』これからも発信していきたい。』
中学2年 北野 奏介

今年三回目の参加で最後でした。三年間不戦をかかげて平和公園を目指しましたが、その道のりはとてもきつかったです。今年被爆七十周年であるため、戦争について知る機会があります。年々語りべの方は減ってきています。戦争の恐ろしさを風化させないためにも、私たちが伝えていかないとけません。自転車隊に参加したことで平和に貢献できたら嬉しいです。』
中学3年 原 愛優

二度目の参加で友だちに『一緒に走ろう』と言われたのが参加のきっかけ。去年は台風接近のため日見峠を走ることができず、悔しい思いをしたが、今年晴天に恵まれ、一番乗りで山頂に着くことができて嬉しかった。自分は何のために走っているのか。第一に大切なのは、不戦を世に訴え戦争無き世界を作るのが大切だと思い、そして戦争で亡くなった人々のことを考えながら走った。今後不戦を訴えて活動を続けてほしいと思う。』
中学3年 細山田 瑞

共生・平和 長崎自転車隊

8/8~9

毎年、毎月、日の日、日間、柳川の爆心地公園の祈り、不戦、共生、平和、長崎自転車隊の取り組み



今年度は(長崎)から5名の子どもたちが自転車隊に参加し、最後まで走り抜けました。炎天下の中、汗を流しながらよくがんばりました!!



たくさんの声援
ありがとうございました!



8/9 折鶴奉納

今年度もたくさんの折鶴が集まりました。組合員のみならず、ご協力ありがとうございました。8月9日平和のつどいの後、10、146羽の千羽鶴を爆心地公園慰霊碑に奉納しました。



折鶴を奉納している理事



8/5 ピースアクションinヒロシマ ～子ども平和会議～

全国の6年生の人と、戦争をなくすにはどうすればよいかを話し合いました。ぼくは他の国の戦争の歴史を知り、話し合っていくことが大切だと思うと意見を言いました。ふだん学校で友だちと戦争のことを話すことはないけど、今回、自然に戦争や平和の話ができました。戦争のことをたくさん知ることができました。



県北地域岩本理事と岩本将基くん(6年生)

8/4 平和学習会 ～あるオランダ人被爆2世の証言～

オランダ人捕虜として長崎で被爆したお父さんのメッセージを伝えたいとロブさんは来日しました。父エヴァーハードさんは、90歳で亡くなる1年前に被爆者手帳を交付されたことが、長い間の戦争のトラウマから開放され「日本人を許す、原爆を落としたアメリカ人も許す」という気持ちにいたったと。ロブさんは「歴史は変えることはできないが、未来は変える変えられる、あなたにも参加できる」と私たちに平和の大切さと呼びかけました。会場には高校生の皆さんをはじめ様々な年代の方が参加し、平和について考える貴重な時間となりました。



ロブ・シカワテンさん